

令和元年度 事務事業総点検シート(1)
[平成30年度事務事業]

特別会計		事務事業分類	詳細点検
事務事業名	介護予防普及啓発事業(本庁)	シート番号	A 一般事務事業
担当部署名	健康福祉 局 長寿社会 部 地域包括ケア推進 課	評価責任者(課長名)	阿加井

Ⅰ. 基本情報

基本情報	1	堺市マスタープランの政策体系に基づく事業の位置付け	政策	1	暮らしの確かな安全・安心を確保します	後期実施計画の位置付け	
			施策	2	地域全体で支える福祉の仕組みづくり	無	
	2	事業開始年度	平成 18 年度		終了(予定)年度	— 年度	
	3	根拠法令等(法令、条例、規則、要綱等)	介護保険法				
	4	関連計画	堺市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画(平成30(2018)~32(2020)年度)				
5	事業実施の経緯	平成18年度介護保険法改正により市町村が実施することとなった。					

Ⅱ. 事業概要

事業概要	6	事業の実施主体(誰が実施しているのか。)	<input checked="" type="checkbox"/> 本庁 <input checked="" type="checkbox"/> 各区 <input type="checkbox"/> 出先機関 () <input type="checkbox"/> 市外郭団体			
			<input type="checkbox"/> 地域団体・市民 <input type="checkbox"/> 民間企業・NPO <input type="checkbox"/> その他 ()			
	7	事業の対象(誰を、何を対象としているのか)	65歳以上の高齢者。			
	8	事業の目的(どのような状況にしたいのか)	高齢者ができる限り自立した生活を送れるよう、要支援や要介護状態の予防(介護予防)を図ることを目的としている。			
9	事業内容(スケジュール、実施方法・手段、事業ボリュームなど)	保健センターまたは地域会館において高齢者等に対して介護予防にかかる知識の普及啓発を行う。事業内容は以下のとおり。 ①げんきあつぷ教室:老人福祉センターや地域会館等で運動指導士による運動機能向上のプログラムを実施。 ②低栄養改善:管理栄養士等による低栄養予防のための講座を実施。 ③口腔機能の向上:歯科衛生士や言語聴覚士等による口腔機能向上のための講座を実施。 ④複合型介護予防教室:認知症を予防するための取組みを中心に、運動機能向上、低栄養改善、口腔機能向上のプログラムを実施。 ⑤介護予防健康教育:保健師、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士による介護予防や健康づくり全般に関する講座を実施。 ⑥いい歯自慢コンテスト:80歳以上で自分の歯を20本以上持つ方を対象に、歯科医師による審査を実施し、表彰する。				
10	直接実施以外の主な支出先	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> 負担金 <input type="checkbox"/> その他 ()				
		セントラルスポーツ(株)、(株)元気サポート、NPO法人みんなのwell.net、(社福)大阪府社会福祉事業団特別養護老人ホーム美原荘				

Ⅲ. 投入量

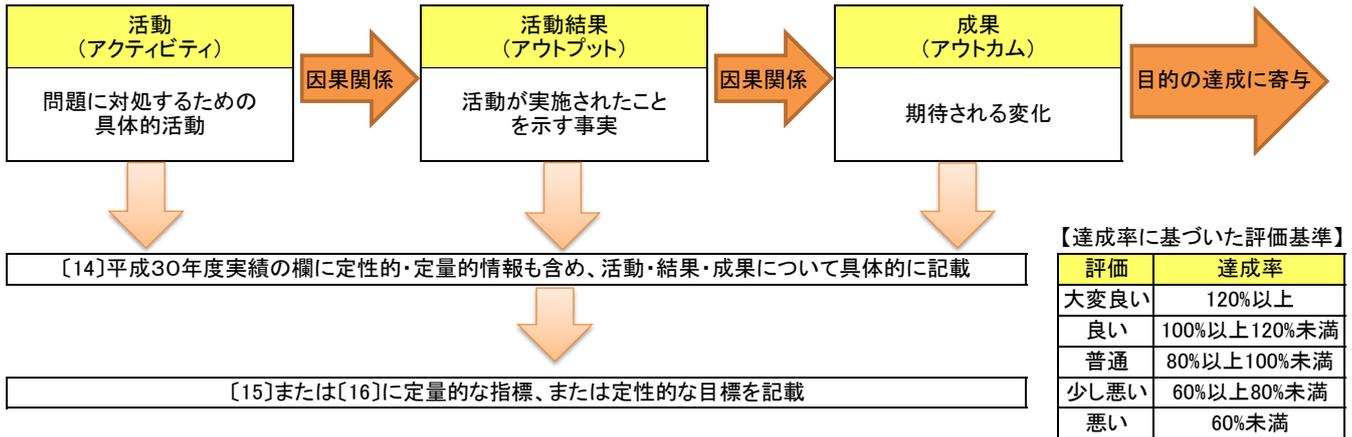
		項目	単位	H28年度決算	H29年度決算	H30年度決算	R1年度予算	
事業コスト	11	事業費(a)	千円	23,807	28,688	26,505	33,978	
		主な事業費内訳	委託料	千円	18,131	23,601	21,213	27,328
			報償費	千円	1,196	1,245	1,100	2,116
			その他	千円	4,480	3,842	4,192	4,534
	財源内訳	国・府支出金	千円	8,928	10,758	9,940	12,742	
		受益者負担金(使用料、手数料等)	千円					
		市債	千円					
		その他(被保険者保険料)	千円	11,903	14,344	13,252	16,989	
		一般財源	千円	2,976	3,586	3,313	4,247	
	12	人件費(b)	千円	2,460	2,460	2,460	2,430	
13	総コスト(c)=(a)+(b)	千円	26,267	31,148	28,965	36,408		

令和元年度 事務事業総点検シート(2)

事務事業名	介護予防普及啓発事業(本庁)	シート番号	11-060
-------	----------------	-------	--------

≪Ⅳ. 評価(測定・分析)≫

ロジックモデルの考え方



事業の活動内容や成果

平成30年度実績								
活動実績と成果	<p>II. 事業概要の9. 事業内容について、下記の活動を行った。 事業内容の①②③については、介護予防に高齢者自らが取り組めるように、身近な地域で参加できるように地域へ出向いて実施する出前型の講座や教室を601回開催し、参加者は11,330人と前年と比べ1,632人増加した。 事業内容④については、運動機能向上、低栄養改善、口腔機能向上、認知症予防等総合的に取り組む複合型介護予防教室を8か所の保健センターで開催した。1クール3ヶ月、12回程度の教室とし、継続的に実施したことで、参加者が教室修了後も仲間とともに活動を続けたいという意識がめばえ、自主的な活動グループの発足へとつながったと考えられる。なお、自主的なグループとして活動が継続できるよう、地域介護予防活動支援事業による運動講師等の派遣を活用している。 事業内容⑤については、高齢者が参加しやすい身近な地域会館や公民館で開催したことで、例年とほぼ同等の実績となった。 事業内容⑥については、参加者数は61人と例年とほぼ変わりなし。</p>							
	14	指標名	単位	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	
		15	回	目標値	1,570	1,570	1,753	1,753
				実績値	1,530	1,753	1,676	
				達成率	97%	112%	96%	
	評価	普通		良い	普通			
	算出方法・設定根拠など		介護予防教室・健康教育・出前講座の開催回数					
	16	指標名	単位	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	
		参加延人数 事業内容9の①～⑥の参加延人数	人	目標値	36,320	36,320	39,087	36,320
				実績値	36,334	39,087	36,304	
				達成率	100%	108%	93%	
	評価			良い	良い	普通		
	算出方法・設定根拠など		介護予防教室・健康教育・出前講座等の参加延人数					

業績の分析

17	目標を達成できた、または達成できなかった要因についての分析 (その他、関連情報に基づいた分析)
高齢者が介護予防に総合的に取り組む必要があることから、認知症予防、運動機能向上、口腔機能向上、低栄養の防止を目的とした複合型介護予防教室を保健センターや地域に身近な公民館や施設等を活用し、開催することで、参加された高齢者の介護予防につながっている。また介護予防に関する健康教育を地域の身近な公民館等へ出向き開催し、より多くの参加につながるよう工夫している。	

【分析のチェックポイント】

- 事業の達成度はどうでしたか。
- 5W2Hを踏まえて、実施過程に問題はありませんでしたか。
- 資源投入は適切でしたか。
- 事前想定できない外的要因の影響はありませんでしたか。
- 事業の有効性は高いですか。低いですか。